

令和4年度1学期 学校評価から見えること

生野中学校

<保護者より> 総合評価 7.0/10.0

◎生徒たちは、社会のルールや規則を守っている	96%
◎家庭では、しつけや基本的な生活習慣に重きを置いている	96%
◎学校や学級で好ましい友人関係を持っている	92%
△生徒は、家庭で意欲的に学習に取り組んでいる	62%
△PC やスマートフォンの使い方・ルールを決めている	66%
△地域の人に対して、大きな声でよく挨拶ができています	70%

<生徒より> 総合評価 7.9/10.0

◎自分には、夢中になれるものがある	96%
◎先生は、わかりやすい授業をするように努めている	96%
◎自分には、困ったり悩んだりするとき相談できる人がいる	93%
△PC や SNS など使用時間は正しく利用できている	70%
△自分は、困ったり悩んだりすることがある	75%
△自分は目標を持って学校生活を送っている	78%

＝総合評価＝

生徒は、家庭や地域でも、ルールを守って正しく生活ができている。学校も楽しく充実した場所になっているようである。授業も分かりやすいと感じており、先生方の授業に対して好意的である。その反面、保護者から見れば、日頃のあいさつの声の大きさや家庭学習、意欲的な生活を送っていないような姿に映っているようである。

特に、PC やスマートフォンの利活用に課題が見られる。家庭での PC や SNS などの使用時間等に課題があり、家庭でのルールが設定されていない家庭も多くあり、正しく利用できていない家庭が多いようである。

＝課題解決に向けて＝

- 1 目標意識を持たせる。学校生活において、生徒に目標を持たせる支援が必要である。生徒に夢や志を抱かせる取り組みを意図的に仕掛けていくために、教職員が意識することが大切である。生徒集会で実施している「1分間スピーチ」で、表現力を高める工夫等や授業の中で、自らの意見を語る場面を増やす授業改善に取り組んでいく。
- 2 家庭学習に課題がある。自主的に家庭学習に取り組む習慣をつけさせる必要がある。今年見直しを行い、小中連携で作成した「家庭学習の手引き」の周知と活用を図ることが必要である。
また、教職員は ICT 機器を活用し、生徒が自ら学びたい、もっと調べたいと感じる授業の創造をめざしていく。
- 3 家庭での SNS や PC の利活用に課題がある。ネット社会の利便性が向上したことに伴い、その扱い方の決まりを作り、正しく SNS が利活用できる力を養っていくことが喫緊の課題である。
今後、保護者には P T A 主催による「SNS の利用について」の教育講演会に積極的な参加呼びかけを行う。また、生徒会と連携し、校長と生徒会執行部との座談会を通して、生徒会活動としてルールの見直しを含めた継続した取組を進めていく。
- 4 授業が分かりやすいと評価する生徒が多い。こうした生徒の期待に応えられるよう、さらに教材研究を深め、授業改善に努めていく。また、ひとクラスを半分に分けて学習をする兵庫型学習システムなどを取り入れて、よりきめの細かい丁寧な授業を進めていく。